

## 点検評価表（県出資25%未満の財団法人等）

### 1 団体の概要（平成31年4月1日現在）

団体名	公益財団法人するが企画観光局		
所在地	静岡市葵区日出町1番地の2	設立年月日	平成7年9月28日
代表者	理事長 酒井公夫	県所管課	文化・観光部 観光政策課
設立目的（定款）	静岡県中部・志太榛原地域の文化的、社会的、経済的特性等を活用し、観光関連産業の振興と交流人口拡大による地域経済の活性化を促進するとともに、国際的な相互理解の増進、文化の向上及び豊かな人間性に根差した社会の創造に寄与することを目的とする。		
設立に係る根拠法令等	一般社団法人及び一般財団法人に関する法律 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律		
団体ホームページ	<a href="http://www.visit-shizuoka.com">http://www.visit-shizuoka.com</a>		

出資者	出資額(千円)	比率(%)
静岡市	210,000	40.2
民間企業34社	198,500	38.0
静岡県	100,000	19.2
行政(焼津市・藤枝市・島田市)	13,500	2.6
基本財産(資本金)計	522,000	100.0

役職員の状況(人)			
常勤役員	1	常勤職員	9
うち県OB	0	うち県OB	0
うち県派遣	0	うち県派遣	0
非常勤役員	22	非常勤職員	1
役員計	23	職員計	10

### 2 行政施策との関係

#### (1) 団体活動に関する行政施策の目的

静岡県観光躍進基本計画における戦略として位置づけられている、『国際競争力の高い観光地づくり』、『観光客の来訪の促進』、『観光人材の育成と来訪者の受入環境の整備』の3つの基本方針を推進し、交流人口を拡大することを目的とする。

#### (2) 上記を代替・補完する団体活動の概要

静岡県中部・志太榛原地域をディステーションとしてブランディングし、観光客来訪促進及びMICE誘致・支援を実施している。

### 3 これまでの改革の取組

<p>平成28年度</p>	<p>事務局組織を再編し、「総務企画部」は法人の組織運営に特化した「総務部」に、「観光・コンベンション部」は名実ともに誘致に関する業務を一体的に行う「事業部」に、「コンベンション推進部」はMICEとインバウンド事業を推進する「MICE推進課」に名称変更した。また、中部・志太榛原地域連携DMOの構築を推進する「地域連携戦略室」を新たに設置した。</p>
<p>平成29年度</p>	<p>・「中部・志太榛原地域連携DMO」として、4月1日にマーケティング責任者(CMO)が着任。業務を担う「地域連携戦略室」の人員及び財源も確保し、DMO事業が本格的に始動した。          ・10月1日付けで「公益財団法人するが企画観光局」に名称変更し、静岡市、焼津市、藤枝市、島田市、牧之原市、吉田町、川根本町の5市2町で観光誘客に向けた市場調査や戦略立案を担う県中部地区DMOとしての事業を開始した。</p>
<p>平成30年度</p>	<p>・「企画開発部」と「企画営業部(旧MICE推進課)」を「企画事業本部」とし、CMOのもと昨年度から実施しているマーケティング調査の結果により事業を立案し具体化に向けての実証事業を行った。          ・インバウンド誘致のため現地商談会への参加と、海外商談パートナーとのネットワークを拡大、誘客に努めた。          ・増加する清水港への客船寄港に、清水港岸壁に臨時案内所を設け、乗船客、乗組員への観光案内に努めた。</p>
<p>令和元年度 (6月時点)</p>	<p>・DMO事業：昨年度開発した「茶氷」「茶事変」のTea事業を進化させるべく、イベント等実施。          ・MICE事業：インバウンド誘致のための海外商談会(シンガポール、ドイツ、中国)へ積極的に参加、誘致に努めている。          圏域内での大会誘致のため、首都圏、中京圏へセールスを行っている。          ・着地型観光事業：静岡県のDCキャンペーンの一環として、『臨濟寺特別拝観』を実施。</p>

#### 4 実施事業

(単位:千円 / H30以前は決算額、R1は予算額)

	事業名	公益目的事業		事業区分		市町補助事業	
		H28	H29	H30	R1		
1	事業費	188,538	221,100	300,751	359,827		
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DMO事業・・・ブランドコンセプトの構築、企画立案及び圏域内観光事業者との共同事業展開</li> <li>・MICE事業・・・MICEの誘致及び開催支援、インセンティブ旅行など各種MICE誘致事業の実施</li> <li>・着地型観光事業・・・観光宣伝、観光客誘致、観光客受入、イベント支援事業</li> </ul>					
	実績等	(主な事業実績) ・「茶事変」「茶氷」などのプロジェクトの実施、旅行商品造成のためのプランニング ・「国際MICEエキスポ」への出展、海外でのインセンティブ商談会への参加 ・観光案内所ほか観光施設の管理運営、観光パンフレットの作成、観光展出版					

	事業名	収益事業		事業区分		自主事業	
		H28	H29	H30	R1		
2	事業費	15,291	15,313	14,337	16,407		
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登呂駐車場及び駿府城跡観光バス駐車場の管理・運営</li> <li>・静岡駅前地下道ショーケース貸付</li> <li>・観光施設等での土産品等販売事業</li> </ul>					
	実績等	平成28年度事業活動収入:25,231,303円 平成29年度事業活動収入:25,260,474円 平成30年度事業活動収入:21,372,109円					

	事業名	業務管理・その他		事業区分		市町補助事業	
		H28	H29	H30	R1		
3	事業費	43,077	41,329	47,600	49,826		
	事業概要	(目的)財団の目的を達成するため、事務所の維持及び職員の管理を行う (実施内容) ・理事会・評議員会の開催 ・静岡・清水事務所の賃借等維持管理 ・職員の雇用及び福利厚生					
	実績等	<役員等の就任状況> 評議員17名、理事23名(内1名常勤理事)、監事3名 <職員数>19名(内常勤9名) 平成30年6月26日事務所を葵区追手町から葵区日出町に移転した					

	事業名			事業区分			
		H28	H29	H30	R1		
4	事業費						
	事業概要						
	実績等						

## 5 点検評価（県所管課記載）

点検項目	県所管課意見				
① 県の出資の必要性が、現在の社会経済環境において認められるか	本県に訪れる観光客は2011年から年々増加している。 中部・志太榛原地域への誘客促進やMICE誘致・支援を行う(公財)するが企画観光局の取組は、当該地域の交流人口の増加や経済の活性化に寄与していると考えられ、出資の必要性が認められる。				
② 県からの補助金、委託金等の支出について、必要性、有効性が認められるか	令和元年度に実施予定の事業は、海外からの誘客を促進する事業であり、観光客の増加と経済の活性化が見込まれることから、有効性が認められる。				
		H28決算	H29決算	H30決算	R1 予算
	県支出額(千円)	-	1,368	-	2,000
③ 県からの職員派遣について、必要性、有効性が認められるか	該当なし				
		H28.4.1	H29.4.1	H30.4.1	H31.4.1
	県派遣職員(人)	-	-	-	-

## 6 経営上の課題・改善に向けた取組の方向性

<p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収益事業の減収</li> <li>・基本財産運用益の減益</li> <li>・人材育成</li> </ul> <p>〈取組の方向性〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存事業の見直しと新規収益事業の開拓に向けて検討</li> <li>・基本財産の運用については、今まで国債や地方債といったリスクの少ない商品で運用してきたが、理事の意見、他団体の状況調査や専門家のアドバイスをいただきながら見直しを検討</li> <li>・プロパー職員の新規採用と人材育成(専門知識を持つ職員を育成)</li> </ul>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------